

●ガバナー 田中 常浩 ● 会長 清川 浩幸 ● 幹事 慶徳 拓也 ● コミュニケーション委員長 中村 澄  
ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp  
Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/  
 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。  
RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

## 第 2246 回 例会 記 録

《創立記念例会》  
2023 年 4 月 20 日 (木)  
点 鐘 18：30  
レポ ー ト No. 1678



### 《会長要件》清川会長



皆さんこんばんは、本日は、創立記念例会です。クラブの創立は昭和 50 年 4 月 19 日です。そして、ポール・ハリスの誕生日です。これは、狙ってそうしたのかわかりませんが同じ日です。創立記念日がポール・ハリスの誕生日ですから忘れることは出来ません。本日 48 回目の創立記念日を迎えました、諸先輩方の功績があつてのことと、私も大変うれしく思いますが、年男？年女？のどちらかとわかりませんが、48 歳ですので年男年女です。インクルージョンもありますのでそのへんはお願い致します。とにかく今日は皆さん親睦を深め、祝い、楽しんでください。

本日は、黒田先生の卓話と橋本精二名誉会員のメラニー・ブロックさんの報告をお願いしましたので会長要件はここまでと致します。

会員の皆さん関係者の皆さんそして、八戸パークホテル様、これからもよろしくお祈りします。

### 《幹事報告》慶徳幹事

皆さんこんばんは、お久しぶりです。3 か月ほどお休みを頂きました。個人的な話で申し訳ありませんが、幹事報告の前に少しお時間を頂きたいと思ひます。2 月に母が亡くなりまして、その節は皆様に色々とお気遣いを頂きました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。3 ヶ月お休みしている間、清川会長、伊藤副幹事、事務局の赤穂さんには色々とお世話になりました。併せましてお礼申し上げます。本日から復帰させていただきますので、清川年度の残り任期、一生懸命頑張っていきますのでよろしくお願い致します。改めて本日の幹事報告に移らせていただきます。



・弘前 RC より例会場、事務局移転の案内が届いています。  
・ハイライト米山が届いています。



### 《出席報告》出貝委員長

本日は創立記念例会です。皆さん出席ありがとうございます。

- ・例会変更、八戸東 RC 5 月 5 日 (金) 祝日につき休会、5 月 12 日 (金) 時間場所変更、5 月 26 日 (金) 時間場所変更です。
- ・来週の例会はお休みになります。4 月 30 日 (日) は蕪島海岸清掃です。お返事がまだの方は事務局までお知らせください。10 時 20 分集合です。
- ・八戸市を緑にする会より緑の募金のお願いと羽根が届いています。ネームプレートの所に置いてあります。八戸緑化祭りの案内も届いています。4 月 26 日から 5 月 7 日迄、ちょうじゃまつりめぐ広場です。
- ・新しい定款細則が出来ました。レターボックスに入れてあります。

### 《ニコニコボックス》松橋副委員長

橋本名誉会員：お招きいただき有難うございました。どうぞよろしく。

清川会長：創立記念例会です。黒田先生、橋本名誉会員、本日はよろしくお祈りいたします。そして皆さん、祝いまししょう。

慶徳幹事：皆さんお久しぶりです。今日からよろしくお祈りします。

黒田会員：クラブ創立記念おめでとうございました。

祝創立記念：赤穂会員、大澤会員、伊藤会員、松田会員

本人誕生日：慶徳会員 (2 月)

結婚記念日：慶徳会員 (3 月)



### 《会員卓話》黒田会員

今日は橋本さんがいらっしゃって、創立したときから私が入るまでの最初の頃の話をしてくださると思います。私のこのタイトル、3 年遅れて入会した



わけですけれども、今、振り返ってみると、色々な奉仕活動に参加しましたが、いつも会員の皆さんからサポートされて、初めて実現できたんだと感謝の気持ちで、今日は、主な事だけ述べさせていただきます。

「私も参加できた奉仕活動の歩み」(45年間の主な活動です。他にも重要な活動がたくさんありますが、時間の関係で省略します。ご了解ください。)

1番最初の写真は1981年、八戸高校インターアクトクラブを創立しました。地区の委員、地区の委員長になり、八戸南クラブの会員に支えられて、高校生を引率し、インターアクトの翼で「慶州ナザレ園」を訪問しました。「慶州ナザレ園」には元日本人女性で、朝鮮、韓国の人と結婚し、朝鮮動乱とかいろいろなことがあって、国籍が分からなくなり、証明するものがないので韓国を出られない、日本に帰りたくても帰れない、そういう方を韓国の方がホームで世話をしてくれている所をインターアクターと一緒に訪問しました。非常に歴史を教えられました。その後インターアクトの地区大会やライラのホストクラブを担当しました。



次は1985年、韓国・南浦項 RC と国際的姉妹クラブになりました。浦項市は漁港、魚市場、海水浴場で有名です。現代は製鉄所が発展し、ポスコは世界5位の生産量です。クラブ会員には、鉄鋼メーカー関連の方が多いです。最近のクラブ会員は150名、非常に大きなクラブになっています。写真の海水浴場



は夏に行くとききれいです。隣の方にはポスコ、向かって右側の方には港があって、八戸と似て蕪島海岸の様な観光地や、工場、漁港があり、姉妹クラブとなりました。それからほぼ毎年交流をしております。

次に1998-99年度、私は皆さんのお陰でガバナーになりました。ガバナー事務所を設置、地区運営をはじめ「ガバナー月信」、PETS、地区協、「ロータリーの友」、地区委員、地区大会ホスト等、会員の皆さんがそれぞれ分担して行なってくれました。地区としては、私はネパールを訪問し、子どもの検診を行いました。僻地の山の中へ行ったので、履物を履いていない、裸足で、栄養状態が悪くて皮膚病も沢山ありました。その他に国際的な活動として、アメリカ第6380地区とのGSE(グループスタディ交換)を準備し整えて、次の年には実現し、アメリカ、カナダの小学校の先生たちが来日しました。1年置いて2001-02年度に2回目のガバナーになりました。事務所は八戸RC、建前では八戸南RCは直接かかわらないと言いましたが、実際は色々と応援していただきました。写真はガバナー月信を綴じるカバーですが、北村さんが案を出して、騎馬打球の図案を載せました。RIテーマは「ロータリーの夢を追い続けよう」という言葉なので、これに引っかかり、そ

の後ずうっと40年間、ロータリーの事で追いかけてきました。

次は2003年9月、第7回ロータリー日韓親善会議をなんとか実現したいという事で、9年ぶりに東京で開催しました。私は連絡担当幹事で、準備から報告書作成まででしたが、クラブ会員と南浦項クラブ会員が支えてくれました。この報告書も日本語と韓国語と両方なければならぬので、韓国語の方は南浦項ロータリークラブが分担して、応援してくれました。この時のフォーラム「聞こえますか、日韓新世代の交流」



の時の大澤先生の写真です。スピーチしてくれました。次に韓国で開催して、第9回は青森市で開催しました。青森の方々では分からないこともあるので、八戸南の会員の皆さんが手伝ってくれました。2003・2004年に私はRIの研修リーダーになり、だんだんのめり込んで行きました。

2008年、アメリカでのロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)に一人で参加しました。日本でもこれは是非行こうべきと考え、本部代表に、先ず東京へ来てもらって打合せ会を持ちました。2008年9月にデビッド・リンネット国際本部委員長夫妻を八戸に招待して、実質的なRLI研究会を八戸市で開きました。その時も観光に十和田迄連れて行ったり、これもクラブ会員に手伝ってもらいました。これは最近デビッドさんが私の誕生日に送ってくれた写真です。RLIで一番大切な事は笑顔を絶やさないうこと。堅苦しくならないでのびのびとやって下さい。リラックスして、というメッセージが届きました。

同じく2008年にクラブと地区の推薦を受けRI理事ノミニー指名委員会で選ばれました。エレクトの時に本部へ行きましたが、写真にありますように「ロータリーの中核的価値観」奉仕、親睦、高潔性、多様性、リーダーシップとあり、本部では一番最初に奉仕とありますが、私は「日本では一番最初に親睦、それから奉仕になります。」とはっきり述べて、私のロータリー観はそうだと伝えました。2009-10年度理事1年目の時の会長はおとなしい方だったので、会長エレクトが理事会で発言し、フタ事務総長の退任もエレクトのペースで決め、エレクト自身がフタさんに伝えに行くと言うのを、「重要な事なので、やはり会長が先頭になり、理事会決定を伝えてほしい」と、私がお願いを出しました。また、エレクトは自分の年度になったら、会計の節約のため職業奉仕委員会を無くしたいと、私の目の前で述べたので、休憩時間にエレクトの部屋へ行って「私は反対意見です」とはっきり伝えてきました。思っている事はどどん言わないと、エレクトのペースに振り回されてしまいます。

これは2009-10年度のスコットランド出身ジョン・



**ロータリーの中核的価値観**  
 奉仕、親睦、高潔性、  
 多様性、リーダーシップ  
 (2007年、ロータリー憲典26.019.2)



ケニー RI 会長ご夫妻の写真です。弁護士で温厚な方です。ジョン・ケニーさんは信頼してくれて、規定審議会から理事会に任せられた、歴史的な「社会奉仕の 23-24 条」の文章や内容の検討と、その取扱いについて、黒田が委員長として、他の委員や RI スタッフと討論し、結論を理事会に出すよう求められて一生懸命やりました。この結果はモンリオール国際大会の日本人朝食会で会長自身が述べてくれました。

2009年11月です。理事ですからゾーン1、2、3の日本のロータリー研究会を開催する、しかも本部から RI 会長、ロータリー財団管理委員長、RI 理事や事務総長などの来賓を迎えて、日本のガバナー、ガバナーエレクトを中心に、韓国、台湾のガバナーやエレクトも参加して、大きな会合を持ったわけですが、特に大きなことは、ガバナーやパストガバナーが、会長や財団委員長に直接質問できることです。この開催にも当地区のパストガバナーや南クラブの会員が全面的に参加協力をしてくれました。通訳は RI 本部のスタッフでした。



2010-11 年度、理事 2 年目はアメリカ・ミズリー州出身のレイ・クリギンスミス RI 会長で、この人は弁護士で大学教授で、新しい色々な事を企画、「新 RI 戦略計画」や「未来の夢計画」の試験的プロジェクトを開始しました。レイさんは RI 事務総長を公募しましたが、最初から決まっていたみたいですが、新事務総長を選びました。その他新しい案をいくつかあげています。変革を恐れない。RI の大きな変革をしみじみと感じた年度でした。RI 会長は「私はカウボーイ精神が好きです」とはっきりと述べ、アメリカ的考え方で構わないのではないかと、会員数が多いからと。私としては日本から選ばれた理事なので、理解できないことは質問しました。



2011 年 3 月、あの東日本大震災が発生しました。私は RI 本部に会員の被災状況を報告しました。この時は被災状況に応じて会費免除とかをお願いしましたが、レイさんが言うような沿岸部だけではなく、例えば盛岡とか中央部なんかも、岩手、宮城、福島も大きな被害を受けているので、この地区は全部、人頭分担金の半期だけですけれども免除させていただきました。韓国や台湾を中心に支援金が集まりました。日本円で言うと 8 億 6 千 88 万円です。私達日本の理事とかロータリアンが、自由に支援できるように財団に交渉して、ロータリー財団の中に「ロータリー東日本震災復興基金日本委員会」を設け、各地区クラブからの 221 件のプログラムに支援を行いました。写真はこの時に新築し八戸市へ寄贈した公衆トイレです。



2011-12 年度には RI 職業奉仕委員会委員長に指名されました。この時の会長であったインドの方が、私がレイさんに反対したことを知っていたのでしよ

うか、私を委員長にして頑張ってくれと言ってくれました。バンコク国際大会で職業奉仕の分科会を持ちました。友愛の広場にブースを持ち、田中 RI 会長エレクト夫人や皆さんから応援して頂きました。写真はタイのインターアクターがブースの前に来てくれた時のものです。



2011 年 7 月、理事の任期が終わったので、ロータリー・リーダーシップ研究会の支部長に選ばれました。日本の各地区で支部の作り方、規約の内容の違いとかいろいろありますけれども、世界本部のテキストを土台にしますが、多様性の尊重を基本として、表現とか考え方はそれぞれ自由にやって良いことにしました。写真は RLI のテキストです。



次の年、2012-13 年度、田中作治 RI 会長が誕生しました。田中さんはじっくり考えて、広島などで「世界平和フォーラム」を開催しました。ロータリー平和センタープログラムの充実、国連主義で、積極的平和を目指す方向へ歩みました。わたしが理事の時、田中さんはまだノミネーだったのですが、世界の皆さんが心配して、田中作治で会長は大丈夫なのかと言われましたが、大丈夫ですと逆に私の方からピアーアールして歩きました。田中さんは責任をはたして、しかも大きな流れを作ってくれました。

2012-18 年度、6 年間という長い間 RI 運営委員会委員に指名され、委員会に所属してマーク・マローニーさんと友達になりました。マーク・マローニーさんは会議の進め方は非常に厳しいのですが、夕方 5 時半頃終わると、これからシカゴの街に案内するからと、シカゴの美術館やコンサート、演劇の鑑賞の機会を作ってくれました。「黒田はもっとアメリカの文化を知らなくては駄目だ、日本の考え方に凝り固まっているのは駄目だ」と、マーク・マローニーさんから学びました。マークさんは是非日本に行くからと述べ、それを実現してくれたのが 2019 年 8 月の当地区南グループ IM に RI 会長夫妻として参加し、来八の約束を実現してくれました。写真はその時の報告書です。



会長夫人は非常に明るい方で、朝市に行きたいという事で、他地区の PG や PG 夫人も朝市見物へ参加し、この時も八戸南クラブの皆さんが案内してくれました。写真は朝市での集合写真です。



私はちょうどその時シカゴへ行って、RI 会長ノミネー指名委員会に出席しました。シカゴへ行って、マーク・マローニーさんの言った事を色々考えながらシカゴの街を散策しました。写真はシカゴの町並みで、広場でリンカーン大統領が市民に建物を説明している銅像ですが、人の大きさ



と比べてとても大きな銅像だという事が分かります。アメリカが分断している感じがしましたが、ポール・ハリスがシカゴで「親睦と奉仕、のちに倫理を加えて」（やはり親睦が先ですが）ロータリークラブを育ててきたこと、「寛容の精神」をいつも強く求めている、寛容の精神を無くすとクラブはバラバラになると言っています。

2016-17年度、長嶺さんがガバナーになった時です。私になった時と同じように、クラブの皆さんがサポートして、地区としてはタイの小学校での浄水器設置運動を長嶺さんはさらに進め、地域住民への活動にもしました。写真は長嶺さんのガバナー月信です。



2013-22年9月、私は6年間のRI運営審査委員会が終わったあと、その前からですが「公益財団法人ロータリー日本財団」千玄室さんが理事長で、その副理事長として、ロータリー平和フェロシップとグローバル補助金奨学生の最終選考を行ってきました。これが大変負担なので、私もいい年ですから、やっと去年9月に千さんに頭を下げてやめさせてもらいました。

2021年5月25日、日本でロータリーが始まったのが1920年10月です。東京クラブが最初で、その100周年を日本全体で祝う「日本のロータリー100周年を祝う会」がコロナ禍の中、ザ・プリンス パークタワー東京からオンラインで開催されました。その中で「日本のロータリー100周年を振り返り、これからの日本のロータリーを想う」という非常に難しいテーマで、RIとはちょっとしたずれがあるので、そこをどのように修正していくのか話し合われました。この祝う会の閉会の挨拶を私がさせていただきました。

まとめです、八戸南クラブは、今、述べたほかに、青少年交換学生、ロータリー財団奨学生や米山記念奨学生らのスポンサー、市民への「よろず相談」、国際大会参加、ロータリー財団や米山記念奨学会への寄付、クラブ親睦など、会長を中心にして奉仕活動を実行してきました。最近パソコンやスマホでロータリー情報を得るだけでなく、クラブ運営にも活用して、コロナ禍の中でも例会を継続してきました。

最後は私の個人的な考えです。

- ・ロータリーでは、1年任期のクラブ会長の方針に会員の一人ひとりが協力する事によって奉仕活動が継続されています。
- ・このような素晴らしい伝統を維持し、ロータリーの絆を深めながら、世界の複合的な危機や早い変化に対応していきたいと思えます。

以上です、ありがとうございました。

#### 《メラニー・ブロックさんの事》橋本精二名誉会員

皆さんこんばんは、今日は八戸南 RC 創立記念例会にお招きいただきありがとうございます。お久しぶりでございます。先程会長の清川さんが、八戸南クラブの創立記念日はポール・ハリスの誕生日だと言っておりましたがその通りでございます。世界中に数多くあるロータリークラブで、ポール・ハリスの誕

生日が創立日になっているところはほんの少ししかありません。八戸南ロータリークラブは八戸市内で4番目にできたロータリークラブです。八戸ロータリークラブの例会日は水曜日です、次にできた八戸東ロータリークラブは金曜日です。そして3番目にできた八戸北ロータリークラブは火曜日です。そういうことで八戸南はダブるわけにはいきませんので木曜日ということで進めてきました。八戸ロータリークラブの檜山さんという方が、八戸南を作るために特別代表として籍を移して、その方はロータリー博士と言われるくらい、大変詳しい方だったのですが、それらの関係もあって上手に木曜日、1975年の4月19日が木曜日だったということもあってうまい具合にポール・ハリスの誕生日が南ロータリーの創立記念日になっているということです。



今日は先程黒田先生からも青少年交換の学生の事が出ましたが、第7代の村井 勢先生が会長で、私が幹事の時でしたけれども、当時は交換学生が非常に盛んでありました。八戸も東も北も三戸も、あちこちでやっていて南の番になり、大変な事になったということでしたけれども、なんとか受け入れようという事で、私は幹事をやっておりましたので、どの学校へお願いすればいいのか、どうすればいいのかということとかありましたけれども、受け入れ実績のある白菊学院、今の聖ウルスラ学園へお願いに行き、当時のノエラ・ゴドル校長先生へお願いしたところ、お引き受けて面倒を見ましょうという返事をいただき、オーストラリアから来たメラニー・ブロックさんという子を引き受けることになりました。白菊のゴドルさんは、うちでお引き受けするのだから、うちからもちゃんと出してくださいよと言われて、佐藤志保さんという方を出すことになりました。八戸のクラブから出すので八戸の方をと思っていたのですが、佐藤志保さんは十和田出身だったのです。私としてはロータリーの規約に反するから、何とか八戸の人なら良いのですが、そうでなければと言ったのですが、まったく聞かないで、私がお引き受けするのだから、私が良い人を選んだのだから、それにしなさいと言われて、今でも思い出しますけれども十和田出身の佐藤志保さんという声楽をやっていた方をアメリカへ、オーストラリアではなくアメリカへ送ったという事がありました。

メラニー・ブロックさんは大変活発な方で、振り回されたと言え失礼になりますが、本当に元気な方で、白菊へ行っているのが物足りなくてですね、柔道をやりたいという事で八高へも行くことになりました。放課後は白菊にもいましたが八高へ行って柔道をやったりと色々なことをして、そのうちに八高にボーイフレンドも出来まして、とうとう最後にはその人と結婚しました。今は、その人の息子さんと一緒に日本で会社を作りいろいろしていますが、そのメラニー・ブロックさんについてご紹介をしたいというので今日ここに立っております。

メラニー・ブロックさんはオーストラリアに帰ってから大学を終え、八高のボーイフレンドが大学を終わったあとに結婚して、日本とオーストラリアの

通商と言いますか、商売とかいろんなものの会社を作って、コンサルタントをやったりと、大変活躍した人です。10年くらい前でしょうか、世界の女性の実業家50人の中に選ばれました。そういう関係で榊さんが会長の時、八戸南の40周年の時にメラニー・ブロックさんに記念講演の講師としてお出でいただき、講演をしていただきました。そのように大変活躍なされていて、昨年、日本とオーストラリアの交流に大変貢献したという事でオーストラリアの勲章をもらいました。叙勲を受けました。まだエリザベス女王がご存命でしたので、女王はオーストラリアの元首ですから、エリザベス女王の名前の刻まれた勲章だそうです。

今年の3月7日に、東京のオーストラリア大使館でレセプションと贈呈式が行われ、メラニーさんのホストファミリーの一人だった金田先生、会員であった昭治先生はお亡くなりになりましたが、奥様と、息子さんの裕治先生と裕治先生の次女の3人が招待されて行ってきたとのご報告であります。

メラニーさんは先程、世界で活躍する女性実業家50人の中に入っているといいましたが、日本の中にある多くのオーストラリアの商社が結成している商工会議所と言うのがありますが、その会頭もやられて、そして今は顧問をやっているようです。写真の左から2番目の勲章を持っている人がメラニー・ブロックさんで、今から約40年前ですから60にはならないと思いますけれども活躍されている方です。金田先生から招待を頂いたという事と、行ってきたという事と、写真を頂いたので皆様にぜひご紹介したいとおもい紹介させていただきました。



大使とともに

先ほどの黒田先生のお話にちょっと触れますけれども、八高にインターアクトを作る時に、他のクラブも再三折衝したのですが、進学校で中々受け付けないという事でした。たまたまその時7代目の村井先生が会長の時で、村井先生と黒田先生が八高の校医さんだったのです。たまたま私もPTA会長をやっている、運が良かったと思います。黒田先生が間に入っていたら八高にインターアクトクラブが出来ました。その時は黒田先生のお嬢さん、金田先生のお子さんも2人いました。私の子供も2人おり、林さんとか、あとはちょっと忘れちゃったけれども南ロータリークラブ会員のお子さんが6~7人いました。その方たちに早速入っていただいてスムーズにインターアクトクラブが八高にできました。黒田先生が一生懸命頑張ったインターアクトの翼には、八高からも大勢参加して、英語もできるので翼の中でもリーダーシップを取り、八高の生徒はその後のインターアクトでも大変活躍いたしました。

交換学生はメラニーさんが最初でしたけれどもその後5~6人、財団の留学生も5~6人南クラブから送って活躍されています。

## 《特別寄稿》

「メラニー・ブロック叙勲セレモニーに参加して」

金田裕治

メラニー・ブロック氏は日本と豪州の友好関係に寄与されたことにより、昨年9月オーストラリア勲章(オーストラリア提督を通してオーストラリアの女王であるエリザベスII世より、「メンバー」ランクAM)を西オーストラリア州総督公邸(パース)で行われた式典にて叙勲されました。

これに伴い、新しく着任したジャスティン・ヘイハースト駐日オーストラリア大使が主催され、3月7日東京のオーストラリア大使公邸でレセプションを行いました。私と母と次女がホストファミリーとして招待されました。

氏は1982年(昭和57年)交換留学生として来八。一年間、白菊学園高等部(現ウルスラ学園)に通学しており、そのうち3か月ほど我が家に滞在しました。私はちょうど学年が一つ下で姉のように接していました。八戸南ロータリークラブに所属していた父が、我々子供たちの英語教育に役立つのではとのことでホストファミリーを請け負ったのですが、逆に私と妹が日本語を教える立場になってしまいました。夜まで3人で楽しく語り合ったことは今でも忘れられません。

オーストラリアに一時帰国していましたが大学卒業後、日本訪問のたびに八戸を訪れて交流が続いていました。その後、息子さん共々東京で活躍されていることを知り大変喜ばしく思っています。

レセプション当日は晴天。まずは庭に通されウェルカムドリンクをいただきました。この庭は藩政時代徳島藩蜂須賀家の武家屋敷のあったところで以前から見てみたいと思っていました。海江田万里議員、ゼビオ社長はじめ50名ぐらいの方が参集しました。東日本震災のとき被災地にずいぶん行き来していたように釜石や福島など東北の方が多かったのが印象的でした(八戸時代の東北弁が大変役に立ったとのことでした)。その他、三菱地所関連の方、大使館の職員、とても多くの人脈を見て驚きました。ことにレセプション開会の挨拶では、八戸での生活や母や妹のことも触れていただきました。お孫さんの成長を見ながら、出会いから41年、月日の流れを感じました。とても貴重な体験をさせていただきました。氏の益々のご活躍を祈念いたします。

## 【メラニー・ブロック経歴】

日本を拠点に活動する国際的なビジネスリーダーであり、アジア太平洋地区及び日豪両国を中心に様々な業種においてビジネスコンサルタントとして活動。長年にわたり日豪関係の推進に尽力しており、豪日交流基金や、主要な豪日経済団体であるAJBCC(豪日経済委員会)などの重要な組織でも指導的な役職を担ってきた。

現在は、豪日経済委員会理事会役員、ANZCCJ(在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所)名誉会頭、オーストラリアNSW州ビジネス・シドニー・アンバサダーに就任するとともに、セガサミーホールディングス株式会社 社外取締役、豪州政府機関アドバンス・グローバルアンバサダー、Tanarra社 グローバルアドバイザーボード、三菱地所株式会社 社外取締役も務めている。



オーストラリア大使館  
ガーデンにて



メラニー・ブロック  
(左に勲章)



パーティー会場にて  
(メラニー一家と)

## 懇 親 会

### 《会長挨拶》 清川会長

黒田先生の卓話、橋本精二名誉会員のメラニー・ブロックさんの報告、有難うございました。吉田立盛会長年度では長嶺会員が卓話をされていて、「わがクラブのヨチヨチ歩る記」の小冊子の事を紹介しています。詳しくは第2017回会報に記載されています。クラブのホームページでも簡単に見られますのでご覧ください。冊子は事務局にあると思います。

今年度の活動報告書を見るとチャーターメンバーはもう橋本精二名誉会員だけになってしまいましたが、懇親会の中で昔話や、今後の未来についても語り合ってください。以上簡単であります、挨拶とさせていただきます。



司 会  
出貝出席・親睦活動委員長



会長挨拶  
清川会長



乾 杯  
西尾直前会長





中 締め  
大橋会長エレクト



手をつながない手に手でお開きとなりました